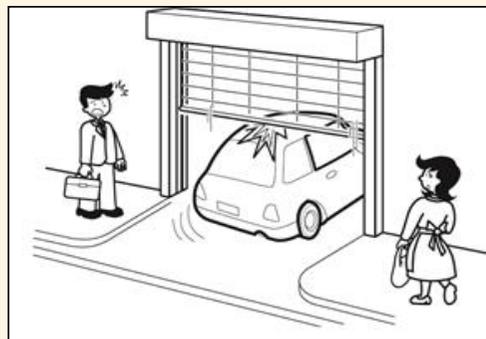


事故事例－4： 駐車場出入り口で自動降下するシャッターと車の接触事故（Part 2）

なぜ事故が起こったのか

外出から帰宅された方が、マンション駐車場出入り口のシャッターをリモコンで「開」操作された。シャッターは上昇し全開で停止したが、シャッター前方の歩道を歩行者が通られたので、通り過ぎるまで待ち、車庫内に入庫した。この際、すでに自動降下を開始していたシャッターに気づかず、車の後部がシャッターと接触し、車は凹みシャッターが変形してしまった。

シャッターは全開した後、約60秒後に自動降下する仕様であった。なお、シャッターの両側には、障害物を感知するセンサが付いていたが、センサが車を検知し、シャッターが停止したときには、既にシャッターは車と接触していた。



事故にあわないためには

シャッターが全開停止していることをご確認ください、駐車場内へ進入してください。シャッターの動き出しているかは、見づらいため、充分なご注意をお願いします。

事故を起こさないためには

マンション住人の方には、改めて、“シャッターが全開した後、一定時間後に自動で閉まる製品であること”のご説明をお願いします。

更なる安全のために

シャッターの設置環境に合わせ、シャッターの動作を知らせる注意喚起装置（回転灯の光やブザーの音、信号灯のランプや文字）のご提案をさせていただきますので、シャッターメーカーにお問い合わせください。